

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(3)-ウ	低炭素都市づくりの推進	施策	③ 都市と自然の共生
			施策の小項目名	—
主な取組	美ら島づくり行動計画推進事業(優良個体の選抜、普及等)			
対応する主な課題	③沖縄本島中南部都市圏における都市化と開発整備に伴い、温室効果ガスの吸収源となる森林や緑地の存在量が不足していることから、都市と自然が調和した効率的、効果的な都市構造の形成を図る必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
「緑の美ら島づくり行動計画」に基づき、県の各緑化施策を総合的に推進するため、緑化施策に資する優良亜熱帯花木等優良個体の選抜・普及等を行う。また、計画に基づき、緑化重点モデル地区への植栽を推進する。		H29	H30	R元	R2	R3
				10件	10件	10件
		緑化活動件数				
実施主体	県					
担当部課☐連絡先	環境部環境再生課 【098-866-2064】					
		亜熱帯花木等優良個体の選抜・普及、緑化重点モデル地区への植栽				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
予算事業名 ー									OR3年度： 本計画に基づき、緑化施策に資する亜熱帯花木等優良個体の普及を行った。また、計画に基づき、緑化重点モデル地区への植栽を推進した。
		—	—	—	—	—	—		OR4年度： 本計画に基づき、緑化施策に資する亜熱帯花木等優良個体の普及を行う。また、計画に基づき、緑化重点モデル地区への植栽を推進する。
予算事業名 ー									OR3年度： ー
		—	—	—	—	—	—		OR4年度： ー

様式1(主な取組)

活動指標名	緑化活動件数(亜熱帯花木等優良個体の選抜・普及等)				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	10件	10件	10件	12件	11件	10件	100.0%	0	順調	「緑の美ら島づくり行動計画」に基づき、県の各緑化施策を総合的に推進するため、緑化施策に資する亜熱帯花木等優良個体(フクギ、クメノサクラ等)の普及を行った。また、計画に基づき、都市部などの緑化重点地区への植栽を推進した。
活動指標名	-				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
	-	-	-	-	-	-				緑化活動件数の計画値10件に対して、11件の実績となり、計画以上に取り組むことができたことから順調とした。
活動指標名	-				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	-	-	-	-	-	-				
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<p>・緑化活動に関する技術書をインターネット等を通じて広く提供するほか、緑化技術講習会を継続して開催することによりインターネットでは伝えにくい情報を補完し、緑化活動支援の充実を図る。</p>						<p>・北部、中部、南部、宮古、八重山の各地域において、継続して、緑化技術講習会を開催しているほか、インターネットを通じて緑化活動に関する技術書を県民に提供した。</p>				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・ 緑化を推進するための部局横断的な取組が十分でない。

○外部環境の変化

- ・ 緑化活動団体から、緑化技術の情報提供等による継続した支援が求められている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 緑化活動団体に対し緑化技術の情報提供等による支援を継続して行う。



4 取組の改善案 (Action)

- ・ 緑化活動に関する技術書をインターネット等を通じて広く提供するほか、緑化技術講習会を継続して開催することによりインターネットでは伝えにくい情報を補完し、緑化活動支援の充実を図る。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(3)-ウ	低炭素都市づくりの推進	施策	③ 都市と自然の共生
			施策の小項目名	—
主な取組	全島みどりと花いっぱい運動事業			
対応する主な課題	③沖縄本島中南部都市圏における都市化と開発整備に伴い、温室効果ガスの吸収源となる森林や緑地の存在量が不足していることから、都市と自然が調和した効率的、効果的な都市構造の形成を図る必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
緑化事業を県民一体となって推進するため、「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」の開催や、企業等と協働で積極的に緑化活動を実施して、緑化活動を普及啓発し、民間への浸透を図る。						
実施主体	県、市町村等					
担当部課(連絡先)	環境部環境再生課 【098-866-2064】					
		行政、団体、企業等による緑化活動の支援				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	全島緑・花・香りいっぱい運動事業	主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
									当初予算額	主な財源	
県単等	委託	8,517	9,368	12,347	7,732	7,474	7,938	県単等	OR3年度： 全島緑化県民運動推進会議の開催。農林高校で生産した苗を学校や地域へ配布する花のゆりかご事業を実施。CO2吸収量認証制度で4件を認証。 OR4年度： 全島緑化県民運動推進会議の開催。花のゆりかご事業、地域環境保全推進事業、企業との協働による名所づくり、CO2吸収量認証制度の周知及び実施。		
予算事業名	—										
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画		
							当初予算額	主な財源			
		—	—	—	—	—	—	—	OR3年度： — OR4年度： —		

様式1(主な取組)

活動指標名	行政、団体、企業等による緑化活動の支援				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要	
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B				
	85	94	114	92	100	—	100.0%	7,474	順調	「『一島一森』で花と緑の美ら島づくり」をスローガンに全島緑化県民運動の普及啓発及び県土緑化への積極的な参加を推進した。県民主体の継続的な緑化活動を支援するため、各種緑化活動を支援した。	
活動指標名					R3年度						
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B				進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」を開催し、県の緑化事業を総合的・横断的に推進するとともに、花のゆりかご事業等で、学校・地域住民等が行う緑化活動を支援することにより、県民主体による緑化活動が各地で実施された。全島緑・花・香いっぱい運動(100件)も前年度より増加するなど、順調に取り組むことができた。	
活動指標名					R3年度						
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B				
(2)これまでの改善案の反映状況											
令和3年度の取組改善案						反映状況					
<ul style="list-style-type: none"> ・長期的な取組を実施する必要があるため、「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」を継続して開催し、県民一体となった緑化活動に取り組み、県庁内部においては、緑化活動に対する認識を深め、横断的な取組につながるよう努めていく。 ・企業、学校、地域住民が行う緑化活動に支援を行い、緑化の意義や大切さの理解を広め、関心を高めていく。また、CO2吸収量認証制度の運用等を通して、企業の緑化活動を広くアピールし、更なる参加を促していく。 						<ul style="list-style-type: none"> ・「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」を開催するとともに、県庁内部において、緑化活動に対する認識を深め、緑化行政を横断的に実施するため、緑化マトリックス会議を実施した。企業、学校、地域住民の緑化活動を継続的に支援し、緑化活動の普及啓発を図った。企業等による緑化活動の推進拡大を目指し実施している沖縄県CO2吸収量認証制度により、4事業者に対して、CO2吸収量の認証を行った。 					



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・緑化を推進するための部局横断的な取組が十分でない。

○外部環境の変化

- ・開発や都市化の進展に伴い、都市周辺や郊外において、緑化活動に供することができる場所を探すことが難しくなっている。
- ・企業との協働による花の名所づくりにおいて、緑化活動に積極的に取り組む企業等が少ない。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・更なる緑化の推進を目指し、行政主導型から民間主導型の緑化活動への転換を図るため、県民に緑化の意義及び大切さの理解を広めるとともに、住民参加による緑化を推進し、経済効果や地域振興へ繋がる取組を検討・推進し、緑化活動の気運を高めていく。

4 取組の改善案 (Action)

- ・長期的な取組を実施する必要があるため、「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」を継続して開催し、県民一体となった緑化活動に取り組み、県庁内部においては、緑化活動に対する認識を深め、横断的な取組につながるよう努める。企業、学校、地域住民が行う緑化活動の支援を行い、緑化の意義や大切さの理解を広め、関心を高める。また、CO₂吸収量認証制度の運用等を通して、企業の緑化活動を広くアピールし、更なる参加を促す。